

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本通運株式会社 西日本医薬品	階数	地上4F
建設地	大阪府寝屋川市小路南町	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年12月 予定	評価の実施日	2020年11月1日
敷地面積	32,357 m ²	作成者	大成建設
建築面積	17,020 m ²	確認日	2020年11月1日
延床面積	63,419 m ²	確認者	大坪

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境: 3.2, 温熱環境: 2.6, 光・視環境: 2.1, 空気質環境: 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

機能性: 3.4, 耐用性: 4.1, 対応性: 4.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境: 2.0, まちなみ: 2.0, 地域性・地域環境: 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 2.4, 効率的: 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.3, 汚染物質: 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化: 3.1, 地域環境: 3.1, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	医薬品保管の倉庫であり、温度管理が必要となるため、外皮に断熱性の高い、断熱サンドイッチパネルを採用した。	その他 特になし
Q1 室内環境	断熱性能の高い外皮を採用。それ以外は通常の環境としている。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地を敷地面積の20%に相当する範囲で確保。(壁面・屋上も利用) ボイラー等の燃焼機器は非設置とした。
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 屋外広告物の照明計画なし 段ボール等の有価物・リサイクル物の回収を想定している。
Q2 サービス性能	天井高を高く、またリフレッシュできるスペースを十分に確保し、自動販売機設置を予定している。 エントランスホールにフローリング・間接照明を採用し、計画段階からバースにて	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含む建築材料を極力使用しない。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R2-変-0022

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	日本通運株式会社 西日本医薬品センター					
		建設地	大阪府寝屋川市小路南町					
		用途/区分	工場 事務所					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					5		
④	エネルギー削減					2		
⑤	自然エネルギー直接利用					—		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.4	2	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								